

令和7年度「ひらの青春生活応援事業」業務委託にかかる公募型企画プロポーザルにおける、学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果について

1 選定委員名簿（敬称略・五十音順）

委員氏名	役職等
谷 俊英	大阪大谷大学 人間社会学部 心理・福祉学科 専任講師
田ノ上 優光	大阪府立松原高等学校 教諭
南 多恵子	関西福祉科学大学 社会福祉学部 福祉創造学科 准教授

2 審査基準

評価項目	配点
事業方針	15
実施体制	20
事業実施計画	55
業務実績	5
業務料の適正	5
合計	100

※選定委員1名あたり100点満点で、3名の選定委員の評価点の平均点で審査を行う。

※評価点数が全委員の平均で60点に満たない場合は、選考の対象としない。

3 申請事業者数

2事業者

4 審査の結果（選定委員の評価点の平均点）

評価項目	A事業所	B事業所
事業方針	11	9.3
実施体制	11.7	12.7
事業実施計画	33.7	33.3
業務実績	4.3	2
業務料の適正	3.3	4
合計	64	61.3

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値については表示されている数値の合計と一致しない場合がある。

各選定委員による審査・評価の結果、一般社団法人officeドーナツトークを業務委託先として選定した。

(選定理由)

- ・実践の積み重ねから、本事業の目的についての的確に理解しており、より研鑽された支援展開が期待されるため。

(付帯意見)

- ・本事業の根幹を成すソーシャルワークの質を確保し、向上させるために、精神保健福祉士のみならず、社会福祉士の配置も視野に置くとともに、ソーシャルワークに関する研修を実施することを求める。
- ・トラウマインフォームドケアを事業の中心に据えていることから、公認心理師または臨床心理士の配置も視野に置くとともに、スタッフの心理的理解を深めるための研修を実施することを求める。
- ・事業実施団体の視野を広げ、専門性を向上させるために、こども家庭福祉およびソーシャルワークを研究領域とする有識者による外部スーパービジョンの実施を求める。
- ・さらなる事業の発展を見据え、既存のネットワークにとどまらず、新たな社会資源の発掘およびネットワークの構築を進めるとともに、各機関・施設に配置された専門職との連携を求める。
- ・個人情報保護の管理体制について、早急にその体制の構築を求める。
- ・公平・中立性確保のための取り組みについて、具体的な方法を明確に示すことを求める。
- ・経費積算書の内容について、冊子の編集印刷費用の確保も含めた調整、精査を求める。
- ・上記の付帯意見に関する取り組み状況について委託元である平野区へ随時報告すること。